

「生徒信条」

京都府立網野高等学校

京都府立丹後緑風高等学校網野学舎

青年は未来を信じ使命に生きる。

青年には無限の可能性がある。未来は青年のものである。青年は自己の人格を完成し、新しい時代の文化を築き上げていかなければならない。新しい時代を積極的に開拓し創造することこそ青年の特権であり使命である。国家、社会の課題を解決し、理想を実現することをわれわれの使命と自覚し、文化創造のために生きる。ここに人生の喜びと意義を見つけることができる。

一、われわれは真実を追求し、日々謙虚（ひかえめで、学ぶべき意見や批判などを素直に受け入れるようす）に学ぶ。

理想的な未来の姿は、若い世代の知性によって実現されなければならない。知性は強い研究心によってのみ高められ、つねに努力することによってのみ深められる。世の中にはさまざまな種類の問題が数多く横たわっている。それらの事がらに目をつけ、いろいろな角度から追求することによって、どれが真実であり、どれがウソいつわりであるかを見きわめることができる。さらに、つねに反省する態度を忘れず、自分の考えだけにとらわれず、謙虚な態度でのぞまなければならない。そうすることによって、より確実な知識を得て、物事を正しく判断する能力を高めることができる。われわれは誠実に学ぶことによって、さらに無限の未知の世界を発見する。青年は、つねに学習することによって確実なそして広く深い知識を身につけ、日々知性を高めることによって新しい理想的な未来の姿と、どうすればそんな未来がやってくるのか解明していくのである。人類の未来はわれわれ若い世代の知性によってのみ切り問かれるであろう。

一、われわれは正義を尊び（価値あるものとして大切にすること）自己を鍛え創意（自分で新しいものを考え出していくこと）に生きる。

青年は未来を開拓し、歴史的社会的に与えられた使命を果たす。そのためにはまず現状を見つめ、さらに理想的な未来を実現させるために努力していかなければならない。つねに反省し、その言動に責任を持つとともに、他人の不正、無責任をくみ、正しいものがかならず勝つという秩序ある社会をつくろうとする情熱をもつ。それこそがわれわれ青年の正義感のあらわれである。さらにまた、だらしのない生活におちいることなく、同じあやまちを繰り返さず、つねに新鮮な感覚、感性をもって新しい何かを創りだそうとする意欲を燃やし努力する。自分だけの利益にとらわれず、全ての人のために文化的により高い生活を創り出そうと積極的に情熱をそそぐ。この創造意欲こそ青年特有のものである。

青年の偉大さは、その強い正義感と創造意欲にある。正義のためならどんな逆境にもくじけず、新しい文化の創造のためには、どんな苦難にも耐え抜く粘り強い意志と肉体、これを造るためにわれわれ青年はつねに自己を鍛えなければならない。スポーツをすることによって心身を鍛え、あるいはまた他人のいやがる仕事は進んで引き受け誠実に取り組む。こうして青年は不可能を可能にする無限の力をつけていく。青年の鍛えられた心身から発する若い情熱と、決してくじけないという強い意志によって明るい社会と偉大な未来が建設されていくのである。

一、われわれは自然を愛し趣味を高め心を豊かにする。

人間は自然の子である。人は自然を愛する。一輪の草花を手にとるとき、人の心はなごむ。さらに、山に登り海に遊び自然にふれるとき、人の心はやさしくなる。また、人類が長い年月にわたってつくりだした文化（学問・芸術等）はわれわれの心を打ち、愛着を感じさせる。ここに趣味が生まれる。

自然を愛する心は全てのものを愛する心に通じ、趣味をもつことは深く人生を愛する心となる。そして、この愛こそは豊かな心―苦難の中にあっても生きる希望を失わない明るくほがらかな人間味あふれる人格、つねに心に余裕を持ち、大きな深いやさしさ―愛情をたたえた人となり、平和な文化的社会をつくっていきこう。

青年は日々向上する。われわれがここに学ぶのは、われわれの素質能力を日々向上させるためである。この信条は君が高校生活を送るにあたっての具体的努力目標である。